

アサヒ飲料株式会社北陸工場の「企業の森づくり活動」に参加しました

令和6年4月20日（土）、黒部市宇奈月町下立地内において実施された、アサヒ飲料株式会社北陸工場の「2024年度 森づくり活動」に参加しました。

アサヒ飲料株式会社北陸工場では、各種飲料の原材料となる黒部川扇状地の伏流水を育む水源の森を保全するため、森づくり活動に取り組んで8年目を迎えます。これまでの活動では主に、クリなどの広葉樹をおよそ800本植樹してきました。今回は、昨年に引き続き、間伐材を利用したなめこの植菌作業を実施しました。

活動当日は快晴。社員ほか、地元下立の小学生親子、森林所有者である下立財産区の方々、53名が参加しました。新川森林組合の指導を受け、森で伐採された木にドリルで穴を開け、なめこの駒菌をハンマーで打ち込みました。子供たちは、一生懸命木製ハンマーを振っていました。完成したほだ木は隣接するスギ林内に運ばれました。その後、植樹木の成長を見たり、光の入った心地よい森林を歩いたりして、探索を楽しみました。

伏せたほだ木には2、3年で菌が回って、なめこが発生します。再び地元の子供たちが山へ入って収穫を楽しめるようになる頃には、アサヒ飲料の森が一段と豊かになっているように、県では引き続き森づくり活動を支援していきます。



晴天に恵まれました☀



森林組合より、手順を教えてください



駒菌を植え込みます



頑張っって打ってみよう！



「ぎゅっ」と力を入れて…



「なめこが出てきますように…また会おうね」



おりたての森を探索



下立財産区議会の方より学びます



これまで植栽してきたクリの木を背景に、全員で記念撮影しました